

期間が限定された舗装修繕の施工について

花菱建設株式会社

細田 紘幸

1. はじめに

本工事は国道1号藤枝バイパスで、藤枝市（旧岡部町）の内谷より国道1号東海道と分岐し、藤枝市北側をトンネルなどで迂回して島田市に至るバイパスの舗装打換え工事である。

道路利用者等の生活に大きく影響を与えるので早期に工事を完成させるために施工方法、工程管理について検討する必要がある。

2. 工事概要

工 事 名：令和元年度

静清維持管内舗装修繕工事

工事場所：静清国道維持出張所管内

工 期：令和元年10月4日～

令和2年1月31日

発 注 者：国土交通省 中部地方整備局

静岡国道事務所 管理第2課

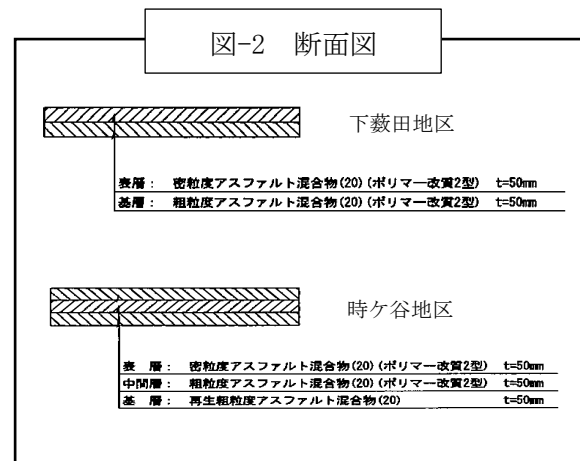
工事内容：下藪田地区 工事延長 L=540m

舗装工本線 A=4450m²

舗装工ランプ部 A=1120m²

時ヶ谷地区 工事延長 L=401m

舗装工本線 A=3320m²



3. 施工条件

(1) 交通規制

夜間全面通行止め規制（時間：21：00～6：00）※5：00には規制撤去

藤枝バイパス集中工事

期間（令和元年12月9日～令和元年12月13日・・・5日間）

予備日（令和元年12月16日～令和元年12月20日・・・5日間）

(2) 施工箇所

施工箇所は、2箇所にて点在している。

- ・下藪田地区 舗装工本線（切削10cm・基層5cm・表層5cm）
- ・下藪田地区 舗装工ランプ部（切削5cm・表層5cm）
- ・時ヶ谷地区 舗装工本線（切削15cm・基層5cm・中間層5cm・表層5cm）

(3) 発注者要望

- ・藤枝バイパス集中工事期間内に施工を終わらせること。

4. 現場における問題点

(1) 施工日数について

当初設計は施工日数が5日間である。実働日数を試算したところ、

- ・下藪田地区 本線：742m²/日・・・6日間、ランプ部：1120m²/日・・・1日間
- ・時ヶ谷地区 本線：554m²/日・・・6日間

実働日数計が13日間必要となることがわかった。そのため施工日数を増やす必要がある。

(2) 施工方法について

- ・1班施工では集中工事期間内の完了ができない為、人員確保を要する。
- ・廃材、合材の日当り数量が約350t～390tの為、供給プラントの増加を要する。
- ・廃材合材運搬車両が1地区7～9台/日必要な為、2地区施工では16台確保を要する。

施工時期が繁忙期の為、上記内容の調整、調達が難しいことが懸念される。

5. 問題点の改善結果

(1) 施工日数確保について

発注者に当初での施工日数では施工出来ないことを設計照査で挙げ、藤枝バイパス集中工事の予備日の5日間を使わせていただけるように承諾を得た。

期間：令和元年12月9日～令和元年12月13日 → 5日間（当初）

予備日：令和元年12月16日～令和元年12月20日 → 5日間 計10日間

(2) 施工方法について

- ・1班施工では上記施工日数の10日間では足りない為、当社職員にて2班組み、2班施工することとした。

- ・合材供給がスムーズになるよう施工箇所の東西に合材プラントを2工場確保した。

- ・運搬車両を各プラントより7～9台確保し、円滑に施工した。

- ・1班 下藪田地区 本線及びランプ部7日間
- ・2班 時ヶ谷地区 本線6日間

早期に施工人員等を確保し2班で施工することにより、工事期間内の施工が可能となった。

当初日数（1班施工により13日間）

・下藪田地区

7日目				
←至静岡	1日目	2日目	3日目	至島田→
	4日目	5日目	6日目	

図-3 区割り図

・時ヶ谷地区

←至静岡	8日目	9日目	10日目	至島田→
	11日目	12日目	13日目	

改善後日数（2班施工により下藪田地区7日間、時ヶ谷地区6日間）

・下藪田地区（第1班）

7日目				
←至静岡	1日目	2日目	3日目	至島田→
	4日目	5日目	6日目	

・時ヶ谷地区（第2班）

←至静岡	1日目	2日目	3日目	至島田→
	4日目	5日目	6日目	



写真-1 下藪田地区状況



写真-2 時ヶ谷地区状況

6. おわりに

本工事においては、施工期間が限定され時期的に繁忙期のため大変でしたが、色々な方に助けられ短期間での施工を行うことが出来ました。また、協力会社様におきましても急な発注にも関わらず、調整していただきました。おかげさまで、無事故、無災害で工事を完成することが出来ました。